

業績ハイライト

－ 平成29年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	9
9. 平成30年3月期 業績予想及び配当方針	…	9

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	29年3月期	
			前期比	増減率
連結経常収益	42,522	44,132	1,610	3.7
経常利益	5,283	4,737	△ 545	△ 10.3
親会社株主に帰属する当期純利益	4,889	4,628	△ 261	△ 5.3

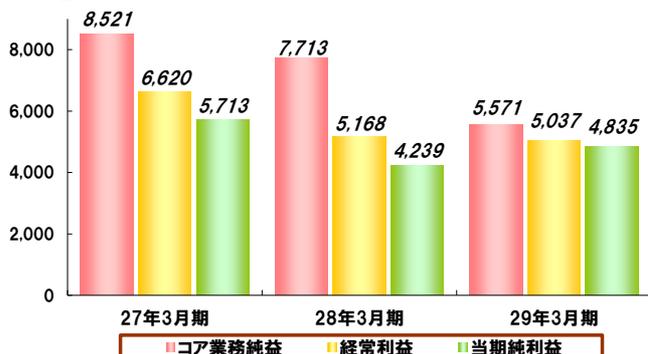
- じもとホールディングスの連結経常収益は441億32百万円、経常利益は47億37百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は46億28百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	29年3月期	
			前期比	増減率
経常収益	41,812	38,312	△ 3,500	△ 8.3
業務粗利益	32,604	31,184	△ 1,419	△ 4.3
資金利益	30,737	28,970	△ 1,767	△ 5.7
役務取引等利益	2,747	2,474	△ 272	△ 9.9
その他業務利益	△ 880	△ 260	620	-
うち国債等債券損益	△ 899	△ 384	514	-
経費(除く臨時処理分)	25,789	25,997	208	0.8
うち人件費	12,996	12,823	△ 172	△ 1.3
うち物件費	11,030	11,211	181	1.6
業務純益(一般貸倒繰入前)	6,814	5,186	△ 1,627	△ 23.8
コア業務純益	7,713	5,571	△ 2,142	△ 27.7
一般貸倒引当金繰入額	△ 816	-	816	-
業務純益	7,630	5,186	△ 2,443	△ 32.0
臨時損益	△ 2,462	△ 149	2,312	-
うち不良債権処理額	3,086	416	△ 2,669	△ 86.4
うち個別貸倒引当金繰入額	2,487	-	△ 2,487	-
うち貸倒引当金戻入益	-	288	288	-
うち株式等関係損益	1,260	454	△ 805	△ 63.9
経常利益	5,168	5,037	△ 131	△ 2.5
特別損益	△ 297	△ 71	226	-
当期純利益	4,239	4,835	595	14.0
与信関係費用	2,241	120	△ 2,121	△ 94.6

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比35億円減少の383億12百万円(増減率△8.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少したことから、前年同期比21億42百万円減少の55億71百万円(増減率△27.7%)となりました。
- 経常利益は前年同期比1億31百万円減少の50億37百万円、当期純利益は法人税等の減少により前年同期比5億95百万円増加の48億35百万円となりました。

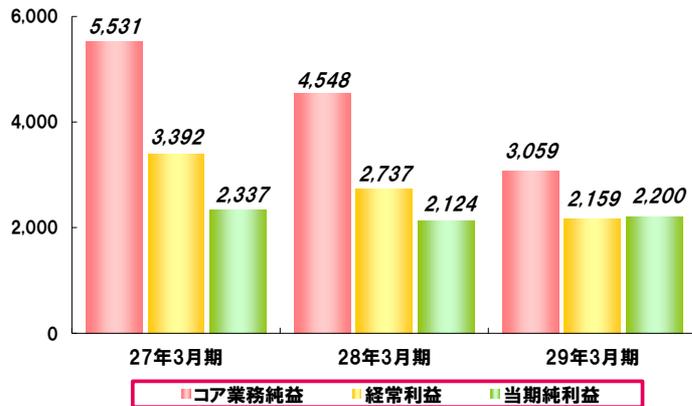
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	24,821	22,602	△ 2,218	△ 8.9
業務粗利益	20,247	18,128	△ 2,118	△ 10.4
資金利益	18,565	16,835	△ 1,729	△ 9.3
役務取引等利益	1,389	1,537	147	10.6
その他業務利益	292	△ 244	△ 536	△ 183.7
うち国債等債券損益	279	△ 366	△ 646	△ 231.2
経費(除く臨時処理分)	15,419	15,435	16	0.1
うち人件費	8,000	7,833	△ 167	△ 2.0
うち物件費	6,405	6,496	90	1.4
業務純益(一般貸倒繰入前)	4,828	2,693	△ 2,134	△ 44.2
コア業務純益	4,548	3,059	△ 1,488	△ 32.7
①一般貸倒引当金繰入額	172	-	△ 172	△ 100.0
業務純益	4,655	2,693	△ 1,961	△ 42.1
臨時損益	△ 1,918	△ 534	1,383	-
②うち不良債権処理額	1,432	338	△ 1,093	△ 76.3
うち個別貸倒引当金繰入額	1,145	-	△ 1,145	△ 100.0
(貸倒償却引当費用①+②)	1,605	338	△ 1,266	△ 78.9
うち貸倒引当金戻入益	-	65	65	-
うち株式等関係損益	138	240	102	73.8
経常利益	2,737	2,159	△ 577	△ 21.1
特別損益	△ 214	△ 62	151	-
当期純利益	2,124	2,200	76	3.5
与信関係費用	1,604	272	△ 1,332	△ 83.0

(単位:百万円)



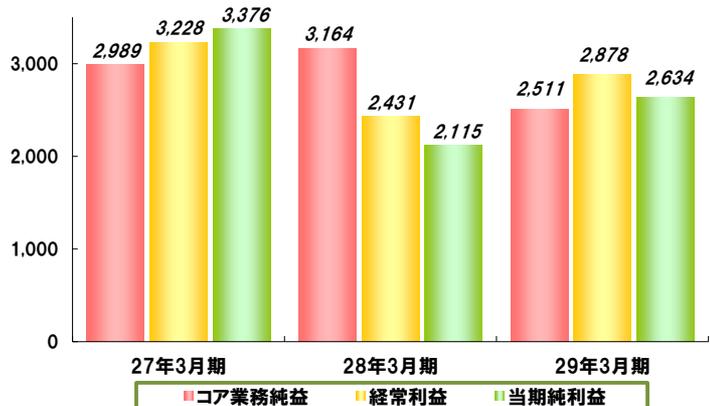
- 経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利が減少したこと、有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比22億18百万円減少の22億2百万円(増減率△8.9%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比14億88百万円減少の30億59百万円(増減率△32.7%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の繰入額の減少などにより前年同期比13億32百万円減少の2億72百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比5億77百万円減少の21億59百万円、当期純利益は前年同期比76百万円増加の22億円となりました。

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	16,991	15,709	△ 1,282	△ 7.5
業務粗利益	12,356	13,056	699	5.6
資金利益	12,172	12,134	△ 37	△ 0.3
役務取引等利益	1,357	936	△ 420	△ 30.9
その他業務利益	△ 1,172	△ 15	1,157	-
うち国債等債券損益	△ 1,178	△ 17	1,160	-
経費(除く臨時処理分)	10,370	10,562	191	1.8
うち人件費	4,995	4,989	△ 5	△ 0.1
うち物件費	4,625	4,715	90	1.9
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,986	2,493	507	25.5
コア業務純益	3,164	2,511	△ 653	△ 20.6
①一般貸倒引当金繰入額	△ 988	-	988	-
業務純益	2,975	2,493	△ 481	△ 16.1
臨時損益	△ 543	384	928	-
②うち不良債権処理額	1,653	78	△ 1,575	△ 95.2
うち個別貸倒引当金繰入額	1,341	-	△ 1,341	-
(貸倒償却引当費用①+②)	664	78	△ 586	△ 88.2
うち貸倒引当金戻入益	-	222	222	-
うち株式等関係損益	1,122	214	△ 907	△ 80.9
経常利益	2,431	2,878	446	18.3
特別損益	△ 83	△ 9	74	-
当期純利益	2,115	2,634	519	24.5
与信関係費用	637	△ 151	△ 789	△ 123.8

(単位:百万円)

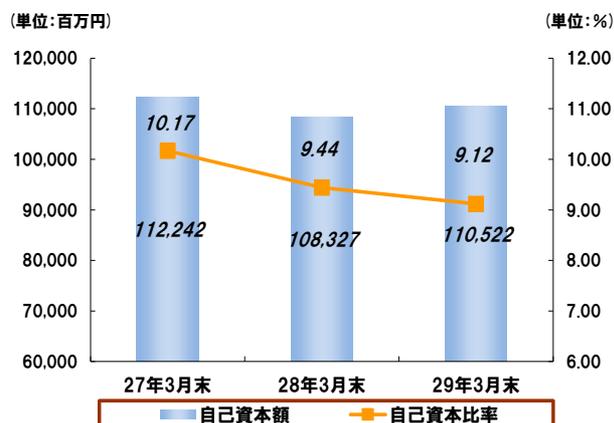


- 経常収益は、有価証券利息配当金や役務取引等収益が減少したことから、前年同期比12億82百万円減少の157億9百万円(増減率△7.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比6億53百万円減少の25億11百万円(増減率△20.6%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒償却引当費用の減少及び貸倒引当金戻入益の計上から前年同期比7億89百万円減少の△1億51百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比4億46百万円増加の28億78百万円、当期純利益は前年同期比5億19百万円増加の26億34百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



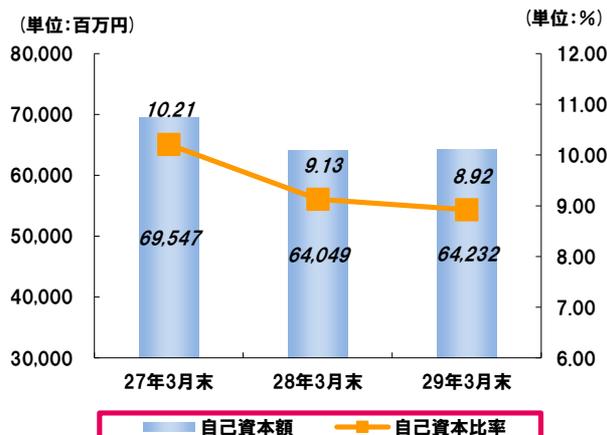
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は9.12%となりました。

(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
連結自己資本比率	10.17	9.44	9.12	△0.32	△3.4

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



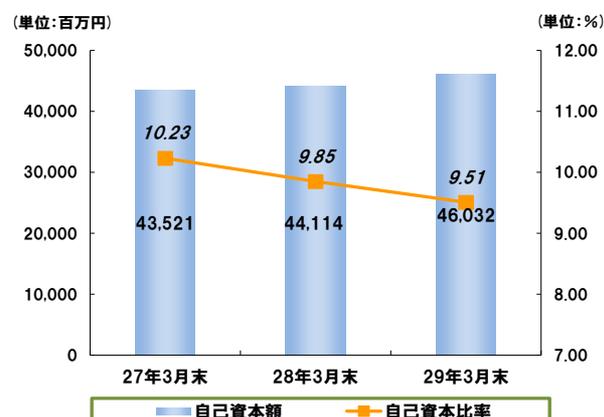
- 単体の自己資本比率は、当期純利益を22億円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、28年3月末比0.21ポイント低下の8.92%となりました。

(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
自己資本比率[単体]	10.21	9.13	8.92	△0.21	△2.3
自己資本比率[連結]	10.22	9.16	8.86	△0.30	△3.3

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移



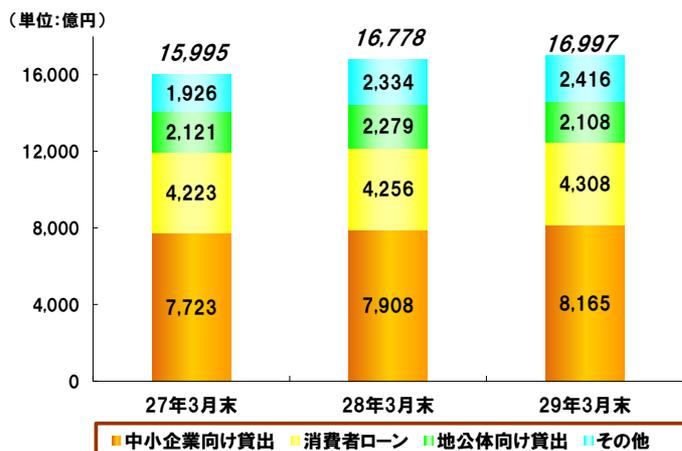
- 自己資本比率は、当期純利益を26億34百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、28年3月末比0.34ポイント低下の9.51%となりました。

(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
自己資本比率	10.23	9.85	9.51	△0.34	△3.4

3. 貸出金の状況

① 2行合算

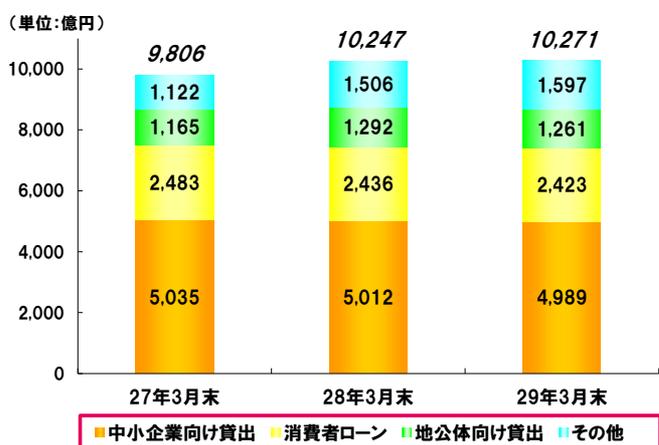


- 2行合算の貸出金残高は、28年3月末比218億56百万円増加の1兆6,997億54百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,677,897	1,699,754	21,856	1.3
うち中小企業向け貸出残高	790,860	816,526	25,666	3.2
うち消費者ローン	425,639	430,801	5,162	1.2
うち住宅ローン	384,806	386,333	1,526	0.3
うち地方公共団体向け貸出	227,951	210,824	△ 17,127	△ 7.5

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、28年3月末比24億80百万円増加の1兆271億92百万円となりました。

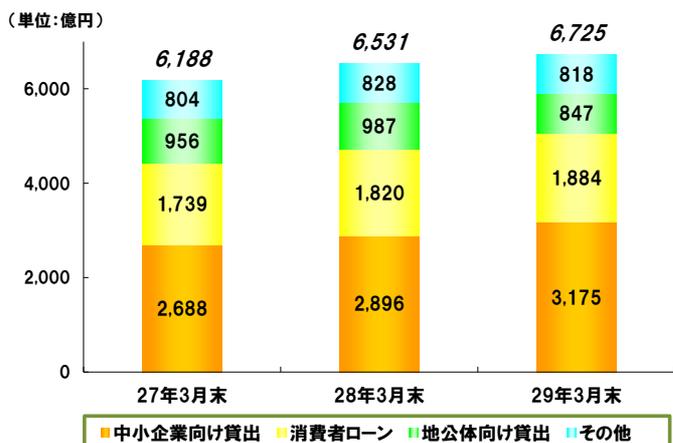
- 中小企業を含む事業性融資については、本業支援を確実に実施した結果、28年3月末比31億43百万円の増加となりました。

- 地方公共団体向け貸出において、28年3月末比30億88百万円の減少となりました。

(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,024,711	1,027,192	2,480	0.2
うち中小企業向け貸出残高	501,245	498,982	△ 2,263	△ 0.4
うち消費者ローン	243,619	242,315	△ 1,304	△ 0.5
うち住宅ローン	223,799	222,902	△ 897	△ 0.4
うち地方公共団体向け貸出	129,209	126,121	△ 3,088	△ 2.3

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、28年3月末比193億75百万円増加の6,725億62百万円となりました。

- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客様の資金需要へ積極的に対応したことから、28年3月末比279億29百万円増加の3,175億44百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により、28年3月末比64億66百万円増加の1,884億86百万円となりました。

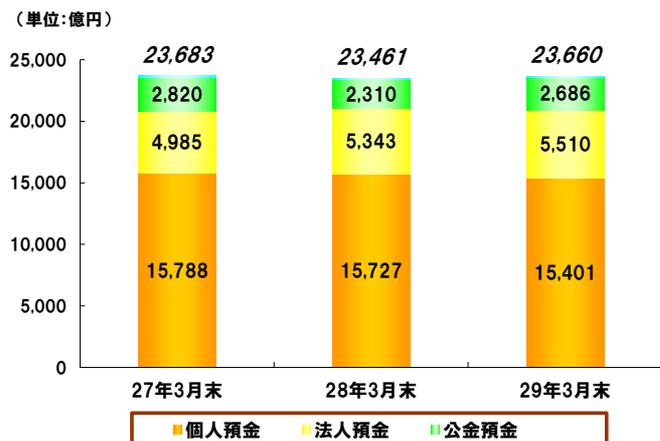
- 地方公共団体向け貸出は、28年3月末比140億39百万円減少の847億3百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
貸出金(末残)	653,186	672,562	19,375	2.9
うち中小企業向け貸出残高	289,615	317,544	27,929	9.6
うち消費者ローン	182,020	188,486	6,466	3.5
うち住宅ローン	161,007	163,431	2,424	1.5
うち地方公共団体向け貸出	98,742	84,703	△ 14,039	△ 14.2

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

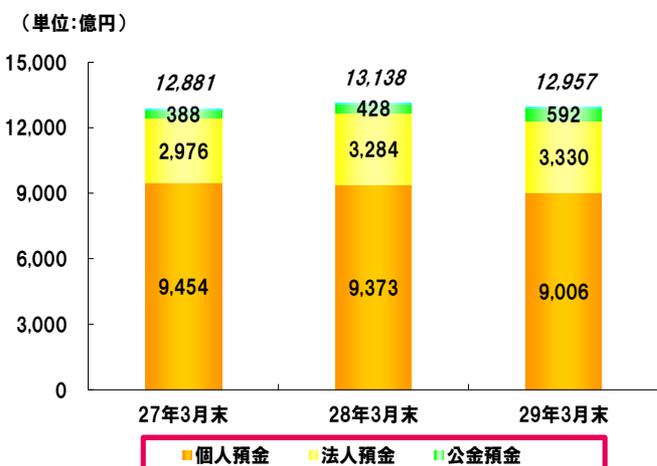


● 2行合算の預金残高は、28年3月末比199億17百万円増加の2兆3,660億36百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,346,118	2,366,036	19,917	0.8
うち個人預金	1,572,741	1,540,145	△ 32,596	△ 2.0
うち法人預金	534,305	551,054	16,748	3.1
うち公金預金	231,005	268,671	37,666	16.3

② きらやか銀行



● 預金残高は、28年3月末比180億52百万円減少の1兆2,957億65百万円となりました。

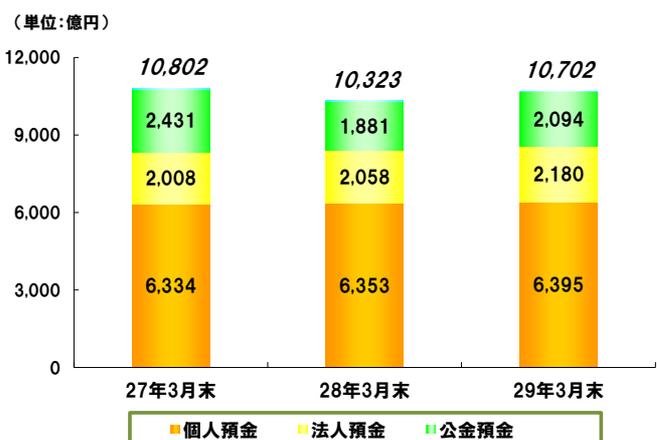
● 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制したことから定期預金が増加したことなどにより、28年3月末比367億91百万円減少の9,006億円となりました。

● 法人預金は、流動性預金が増加したことなどにより、28年3月末比45億12百万円増加の3,330億円となりました。

(単位: 百万円, %)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,313,818	1,295,765	△ 18,052	△ 1.3
うち個人預金	937,392	900,600	△ 36,791	△ 3.9
うち法人預金	328,487	333,000	4,512	1.3
うち公金預金	42,808	59,228	16,420	38.3

③ 仙台銀行



● 預金残高は、28年3月末比379億70百万円増加の1兆702億円となりました。

● 個人預金は、28年3月末比41億95百万円増加の6,395億44百万円となりました。

● 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、28年3月末比122億35百万円増加の2,180億53百万円となりました。

● 公金預金は、28年3月末比212億45百万円増加の2,094億42百万円となりました。

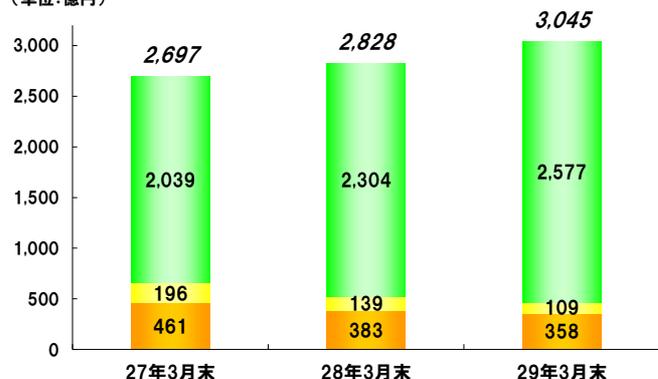
(単位: 百万円, %)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,032,300	1,070,271	37,970	3.6
うち個人預金	635,349	639,544	4,195	0.6
うち法人預金	205,817	218,053	12,235	5.9
うち公金預金	188,196	209,442	21,245	11.2

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



■投資信託 ■公共債 ■生命保険

- 2行合算の預かり資産残高は、28年3月末比216億81百万円増加の3,045億24百万円となりました。

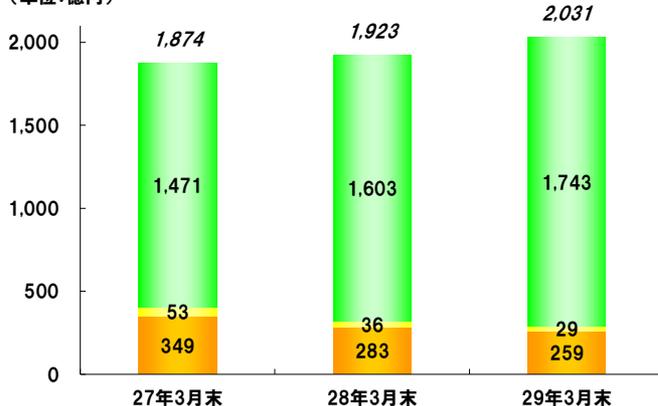
(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	
			増減額	増減率
預かり資産(末残)	282,843	304,524	21,681	7.6
うち投資信託	38,370	35,802	△ 2,567	△ 6.6
うち公共債(国債等)	13,980	10,986	△ 2,994	△ 21.4
うち生命保険	230,492	257,735	27,243	11.8

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

② きらやか銀行

(単位:億円)



■投資信託 ■公共債 ■生命保険

- 預かり資産残高は、28年3月末比108億77百万円増加の2,031億91百万円となりました。
- 投資信託は、28年3月末比24億11百万円減少の259億38百万円となりました。
- 公共債は、28年3月末比7億4百万円減少の29億29百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、28年3月末比139億93百万円増加の1,743億23百万円となりました。

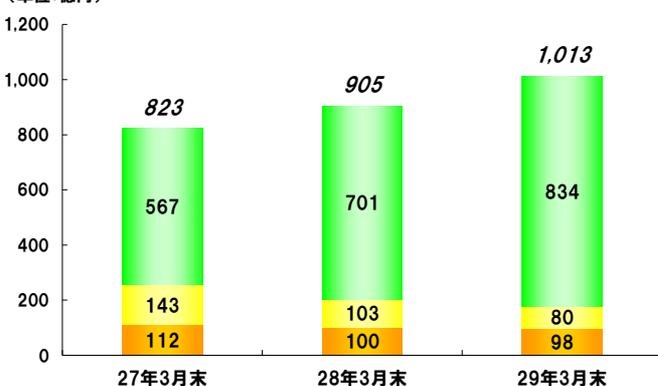
(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	
			増減額	増減率
預かり資産(末残)	192,314	203,191	10,877	5.6
うち投資信託	28,350	25,938	△ 2,411	△ 8.5
うち公共債(国債等)	3,634	2,929	△ 704	△ 19.3
うち生命保険	160,329	174,323	13,993	8.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



■投資信託 ■公共債 ■生命保険

- 預かり資産残高は、28年3月末比108億3百万円増加の1,013億32百万円となりました。
- 投資信託は、28年3月末比1億56百万円減少の98億63百万円となりました。
- 公共債は、28年3月末比22億89百万円減少の80億56百万円となりました。
- 生命保険は、お客様の資産運用ニーズへの対応により、28年3月末比132億50百万円増加の834億12百万円となりました。

(単位:百万円、%)

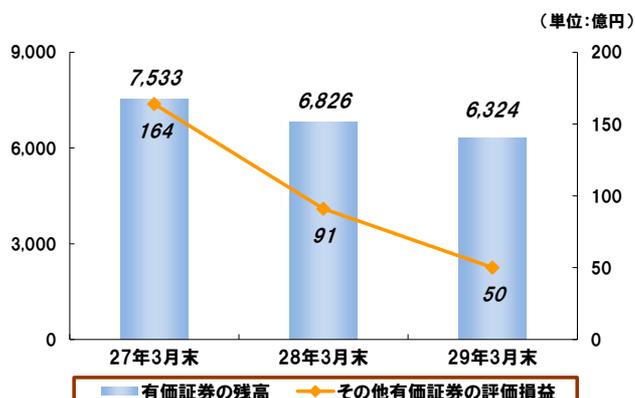
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	
			増減額	増減率
預かり資産(末残)	90,528	101,332	10,803	11.9
うち投資信託	10,020	9,863	△ 156	△ 1.5
うち公共債(国債等)	10,346	8,056	△ 2,289	△ 22.1
うち生命保険	70,162	83,412	13,250	18.8

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、28年3月末比502億68百万円減少の6,324億6百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、28年3月末比41億78百万円減少し、50億14百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

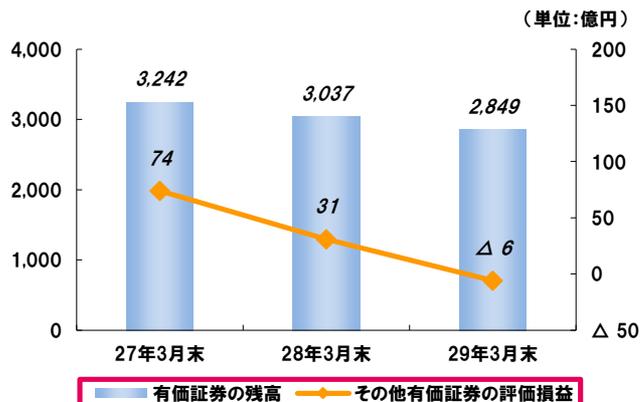
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
有 価 証 券	682,674	632,406	△ 50,268	△ 7.3
国 債	228,933	161,781	△ 67,151	△ 29.3
地 方 債	78,579	79,426	846	1.0
社 債	224,415	202,263	△ 22,151	△ 9.8
株 式	12,538	17,773	5,234	41.7
そ の 他 証 券	138,207	171,160	32,953	23.8

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	9,193	5,014	△ 4,178
株 式	2,671	3,519	847
債 券	10,022	4,972	△ 5,049
そ の 他	△ 3,501	△ 3,477	23

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、28年3月末比188億20百万円減少の2,849億50百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、債券の評価益が減少したことにより28年3月末比38億46百万円減少し、6億92百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

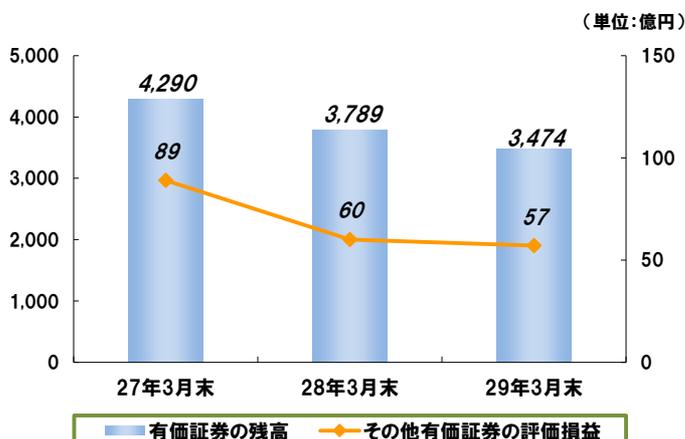
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
有 価 証 券	303,771	284,950	△ 18,820	△ 6.1
国 債	120,800	93,517	△ 27,283	△ 22.5
地 方 債	9,942	8,091	△ 1,851	△ 18.6
社 債	74,860	53,292	△ 21,568	△ 28.8
株 式	5,621	9,252	3,630	64.5
そ の 他 証 券	92,546	120,796	28,250	30.5

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	3,153	△ 692	△ 3,846
株 式	891	1,040	148
債 券	4,657	967	△ 3,689
そ の 他	△ 2,395	△ 2,700	△ 305

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら効率的な資金運用に努めたことから、28年3月末比314億47百万円減少の3,474億55百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金融市場の変動の影響を受け、28年3月末比3億32百万円減少し、57億6百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比	増減率
有 価 証 券	378,902	347,455	△ 31,447	△ 8.2
国 債	108,132	68,264	△ 39,868	△ 36.8
地 方 債	68,637	71,335	2,697	3.9
社 債	149,554	148,971	△ 583	△ 0.3
株 式	6,916	8,520	1,603	23.1
そ の 他 証 券	45,661	50,364	4,702	10.2

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

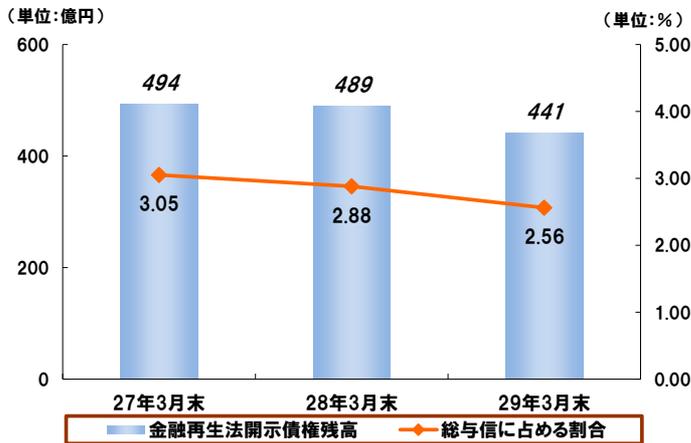
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	6,039	5,706	△ 332
株 式	1,780	2,479	698
債 券	5,364	4,004	△ 1,360
そ の 他	△ 1,106	△ 777	329

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年3月末比47億56百万円減少の441億59百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年3月末比0.32ポイント低下の2.56%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

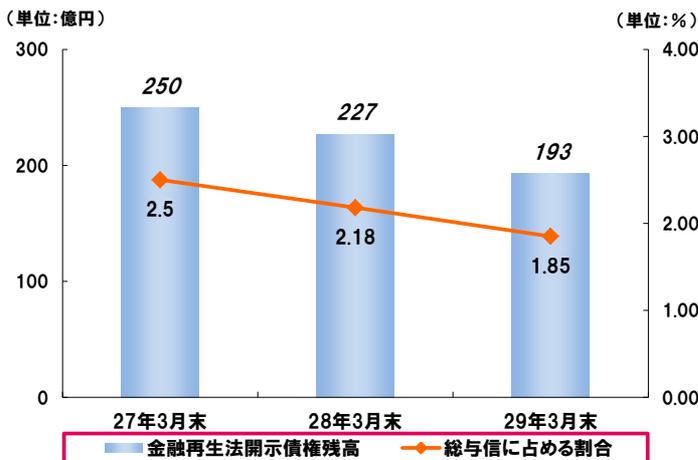
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,933	4,730	△ 2,202
危険債権	37,266	35,270	△ 1,996
要管理債権	4,715	4,158	△ 557
合計 (A)	48,915	44,159	△ 4,756
正常債権	1,649,281	1,675,222	25,940
総与信額 (B)	1,698,197	1,719,382	21,184
(A / B)	2.88	2.56	△ 0.32

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,730	4,730	2,430	2,299	100.00
危険債権	35,270	31,756	25,555	6,201	90.03
要管理債権	4,158	1,229	842	387	29.57
合計	44,159	37,717	28,828	8,889	85.41

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年3月末比33億72百万円減少の193億47百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、28年3月末比0.33ポイント低下の1.85%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

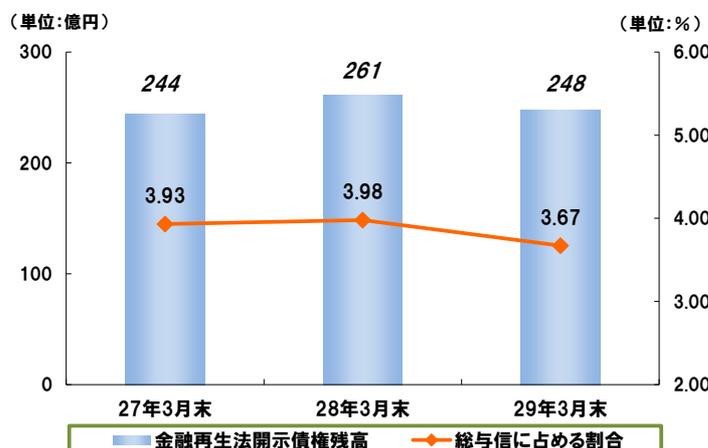
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,585	3,186	△ 2,398
危険債権	14,121	13,353	△ 767
要管理債権	3,013	2,806	△ 206
合計 (A)	22,719	19,347	△ 3,372
正常債権	1,018,684	1,023,969	5,284
総与信額 (B)	1,041,404	1,043,316	1,911
(A / B)	2.18	1.85	△ 0.33

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,186	3,186	1,342	1,844	100.00
危険債権	13,353	10,830	8,730	2,100	81.10
要管理債権	2,806	565	189	375	20.13
合計	19,347	14,582	10,262	4,320	75.37

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、リスク管理債権の回収等により、28年3月末比13億83百万円減少の248億12百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年3月末比0.31ポイント低下の3.67%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

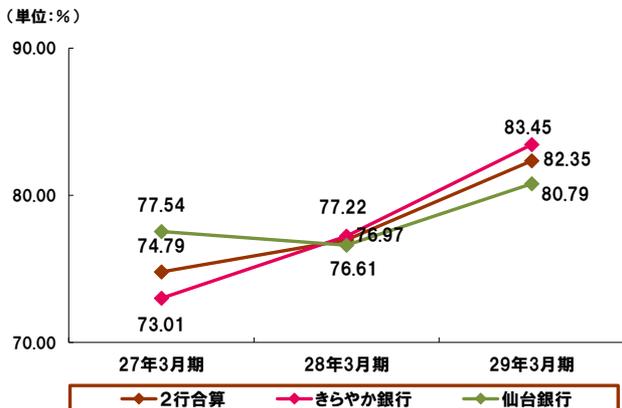
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,348	1,544	195
危険債権	23,145	21,916	△ 1,228
要管理債権	1,702	1,351	△ 350
合計 (A)	26,196	24,812	△ 1,383
正常債権	630,597	651,253	20,656
総与信額 (B)	656,793	676,065	19,272
(A / B)	3.98	3.67	△ 0.31

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,544	1,544	1,088	455	100.00
危険債権	21,916	20,926	16,825	4,100	95.48
要管理債権	1,351	664	652	12	49.17
合計	24,812	23,134	18,566	4,568	93.23

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、28年3月末比5.38ポイント上昇し、82.35%となりました。



(単位:%)

		27年3月期	28年3月期	29年3月期	27年3月期比	28年3月期比
コアOHR	2行合算	74.79	76.97	82.35	7.56	5.38
	きらやか銀行	73.01	77.22	83.45	10.44	6.23
	仙台銀行	77.54	76.61	80.79	3.25	4.18

9. 平成30年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成30年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益32億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成29年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、平成30年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 平成29年3月期 実績
経常利益	3,700	1,000	4,737
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,200	800	4,628

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成29年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益12億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 29年3月期 実績
経常利益	2,200	600	2,159
当期純利益	2,000	500	2,200

仙台銀行

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 平成29年3月期 実績
経常利益	1,500	500	2,878
当期純利益	1,200	400	2,634